



IAUD アワード 2013 医療福祉部門にて 『wells 縦置き浴槽ユニットバスの開発』が金賞を受賞

積水ホームテクノ株式会社は、一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会（IAUD）が主催する「IAUD アワード 2013」にて、「医療福祉部門 金賞」を受賞いたしました。

一般財団法人国際ユニヴァーサルデザイン協議会は、UD 普及と実現を通し、社会発展とくらし創りを目指して 2003 年 11 月に設立されました。IAUD アワードは、民族、文化、慣習、国籍、性別、年齢、能力等の違いによって、生活に不便さを感じることなく、“一人でも多くの人が快適で暮らしやすい” UD 社会の実現に向けて、特に顕著な活動の実践や提案を行なっている団体・個人を表彰するものです。

■ 受賞概要

w e l l s 縦置き浴槽ユニットバスは、介護施設に新しい入浴介助法を提供します。介護有識者の知見、現場介護士のノウハウ、そして積水ホームテクノの人間生活工学検証により生まれました。さまざまな高齢者の身体状況に合わせ、手すりや浴槽等を動かせる可変システムを用いて、安全で入浴しやすい工夫をしております。

また、浴槽から出る介助の負担が大きいという課題を、退浴介助用のステップ機能を搭載し、高齢者が立ちやすい工夫をすることで、介助者の腰部負担の 2 割削減を実証しました。

審査員からは「『wells 縦置き浴槽ユニットバス』は、介護が必要なユーザーにできるだけ自立をうながし、介助者の負担を軽減することで、入浴が両者にとって快適なものとなることを重視しています。」「身体的ニーズだけでなく、自尊心を与え、できるだけ自立をうながしながら介助ができるという大切な心理的ニーズにも対応している」と講評をいただきました。



< 可変システム >

浴槽可変：その方にとって入りやすい方へ浴槽を移動して、入浴しやすくなります。



< 介助負担軽減 >

高齢者はステップに座ると足を引くことができ、立ち上がりやすくなります。そのため、介助者が退浴介助をする腰部負担度を 2 割削減しました。

① 一旦、ステップまで移動し…

② 浴槽上端のシットレストへ移動します



< 負担度合いを筋電図で計測 >

一般浴槽に対するwells縦浴槽筋電位比

